大きなプールに面したL字シェイプの家は、森の中に建つホテルのよう。家族や大勢の友人とバケーションを過ごすのには最高のシチュエーションだ

ダイニングからパティオへのビューは、樹々やサッシを抜ける自然光が優しくゆらぎ、心身共にリラックスできる時間を与えてくれる

Residence 2

Meadow Estate

area : **San Francisco Peninsula, CA**

牧草地ならではのスケール感を生かしたエステートの呼び名がふさわしい住宅。

Text/Tatsuto Nakajima　Photos/Paul Dyer　Special Thanks to Andrew Mann ARCHITECTS
http://www.andrewmannarchitecture.com/

オークツリーが生い茂る広大な牧草地。カリフォルニアでよく見かける光景の中に建てられた、非常に大きな邸宅を紹介しよう。

カジュアルな中にも趣のあるデザインをというクライアントの要望に応え、サンフランシスコの建築家アンドリュー・マンのデザインチームが手掛けたリノベーションがこの家だ。SFの中でもベイエリアでのプロジェクトに積極的に参加する彼らは、伝統を重んじながらも現代的な要素を巧みに盛り込む手法が、そのデザインの大きな方向性。特に自然光をどのように取り入れるかや、絶対的な建物のプロポーション、屋外も含めてそこに居る人の動線など、絶対に軽視できない部分にフォーカスしながら作り上げる作品は非常に評価が高い。

そんな彼らにより、完全なるリニューアルを果たした牧草地に建つこの家も、非常に魅力的に仕上げられている。家としての絶対的な美しさをキープするため、しっかりと横幅を出して大地に足をつけたようなエクステリア。可能な限り自然光を取り入れ、スカイライトを多用する事で、日中はどこに行っても明るい室内レイアウト。光を効果的に伝えるために、無数の梁がホワイトペイントで仕上げられ、天候に大きく左右される事なく、常に快適な明るさと、家を含めたそこからの美しさやビューにこだわりを見せている。こうした細かな設定が功を奏し、屋外はもちろん屋内でも光が満ち溢れ、空間に豊かさをもたらすデザインを生み出している。クライアントの望んだ、快適かつカジュアルな空間が広がる新しいファームハウスのカタチだ。

上／廊下の少し凹んだ場所に本を読めるブースなどを設置している。左／ティールブルーをテーマにしたユニークな部屋